

事務事業名		訪問診療確保対策事業補助金		所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり政策課	
総合計画体系	政策名	(Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	健康政策G	課長名	嘉本 史紀	
	施策名	(20) 地域医療の充実		担当者名	須藤 晴紀	電話番号	40-1045 (内線) 2171	
	目的: 対象	市民	意図	安心して医療機関を利用できる。				
	基本事業名	(058) かかりつけ医制度の普及と在宅医療の推進		予算科目	会計 012002 款 2002 目 050517	大事業名	保健衛生総務管理事業	
目的: 対象	市民	意図	かかりつけ医を持つ。自宅での治療を受けることができる。				中事業名	訪問診療確保対策事業補助金

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (27年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	(年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
所在地から遠方の訪問診療に取り組む診療所等に支援することにより、在宅療養生活の継続が可能となる区域の拡大を図る。 島根県補助3/4	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動)	28年度計画(28年度に計画する主な活動)				
	遠方への訪問診療に取り組む診療所等に対して補助金を交付した。	遠方への訪問診療に取り組む診療所等に対して補助金を交付する。				
② 活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	市内訪問診療実施診療所数	箇所			8	10
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	市内の訪問診療を実施している診療所		ア	市内訪問診療実施診療所数	箇所			8	10
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
市民の在宅療養生活を確保する。		ア	補助金申請診療所数	箇所			8	10	
		イ							
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)		② コストの推移		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
補助金: 875千円		事業費	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円			656	2,643
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円			219	882
		事業費計(A)		千円			875	3,525
		人件費	正規職員従事人数	人			1	
			延べ業務時間	時間			40	
			人件費計(B)	千円			157	
		トータルコスト(A)+(B)		千円			1,032	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
医療介護総合確保推進法により、地域における在宅療養生活の確保及び充実がより求められるようになった。	島根県及び診療所等との連携を図っている。	市内全域への在宅療養生活の確保が求められている。

事務事業名	訪問診療確保対策事業補助金	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり政策課
-------	---------------	-----	-------	-----	----------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	遠方への訪問診療を実施する診療所等の拡大を図る。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	島根県の補助制度を活用しているため。	
評価の 総括	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	島根県の補助制度を活用しているため。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	島根県の補助制度を活用しているため。
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	島根県の補助制度を活用しているため。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 遠方への訪問診療を実施する診療所等の拡大を図っていく必要があるため。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
訪問診療をしている医療機関へ出向き、訪問診療の実施状況を把握するとともに、事業説明を行い拡大を図る。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			